

令和3年度福岡市農林業振興審議会 第3回林業分科会

- 1 開催日時 令和3年7月27日（火）10:00～
- 2 開催場所 公益財団法人九州先端科学技術研究所（Web会議併用）
- 3 出席者 福岡市農林業振興審議会林業分科会委員 8名（別紙委員名簿参照）  
佐藤（宣）委員、藤本委員、佐藤（肇）委員、柳田委員、井上委員、  
横田委員、馬男木委員、小林委員  
欠席 1名  
塚本委員  
市側 6名  
浦塚総務農林部長、野見山森林・林政課長、  
岡本林政係長、小形森林経営係長、大角森林整備係長、  
山口油山市民の森等リニューアル担当主査
- 4 傍聴者 0名
- 5 次第 ○開会  
○議事 ・福岡市農林業総合計画（林業）素案について  
・次期計画 5年後の目標について  
○閉会
- 6 議事

【会長】

第3回ということで、とりまとめをする回となっていますので、忌憚のないご意見を  
お願いします。

○資料及び参考資料について事務局より説明

【会長】

まず資料1から、前回議論を踏まえて修正されていますが、さらに指摘事項があれば  
いただきたいと思います。

【委員】

木材利用の方針として、前回の議論を踏まえて“木質化を中心とした”というように変  
えたということですが、木造化という言葉が全くなくなると、市として木造化は進めな  
いというように見えるので、何らかの形で残した方がよいと思います。大規模な公共施  
設の予定はなかなかないと思いますが、小規模な公共施設の木材利用は可能性がありま  
すので、その部分は入れておいた方がよいと思います。

【会長】

私も「木造化はしない」となりかねないので、残した方がよいと思います。

【委員】

木質化を中心に考えることは、福岡市の方針として理解できるので、それを推進する

ことはよいと思います。要は市として実行する覚悟、それを中心に場合によっては事業化する、補助を出すということを考えると、木造化は使用量がかなり増えます。木質化はそれに比べると少なく、使用量が増えないので、数値としては出にくくなります。守りの姿勢でものを言うのはよくないと思いますが、ある程度実行可能な形で、木造化もどこかに含めて書かれたらよいのではないのでしょうか。木質化を中心の考え方は理解できますので、その方向は残しつつ木造化もどこかに入れた方がよいと思います。

**【会長】**

書き方に工夫が必要になると思います。

**【委員】**

P. 6 の目指すべき森林の将来像は、「守る・楽しむ・活かす」の3つに対して、基本方針5つの順番をどう決めたのでしょうか。全部同じレベルだと思いますので、「守る・楽しむ・活かす」に合わせた順番にしたらよいのではという気がします。また P. 10 の1(1)下から6行目、「また山地災害を防止するため～」の後半の部分で、「防災上整備が必要な林道への対策」と書かれていますが、まず防災上整備が必要な林道への対策というのが何かよくわからないというのが1点。さらに「森林環境譲与税」という財源の文言をここで入れる必要があるのかというのが気になります。また防災上整備が必要な林道への対策というのは、P. 11 の「森林資源活用に向けた基盤づくり」に林道について書かれているので、前の「森林づくり」にも林道整備を入れる必要があるのかなと思いました。

**【会長】**

財源はここでは明確する必要がないということと、防災と利用のところに林道整備が入っているので整理したほうがよいということですね。

**【委員】**

木質化については、前回の審議会でも、福岡市の特性を考えると木質化の整備にした方がよいという意見が出たことを踏まえての変更だと思います。木質化は目に見えて木を使っていることがわかりやすいですし、木材利用を推進する意味では木質化は大事だと思います。ただ木材の使用量でいうと、木造化の方が利用量は圧倒的に増えると思います。市は木質化に力点を置くのに、目標設定が木材使用量になるならば、目指すものと目標数値が矛盾してくることが懸念されますので、あくまでも木造化も推進しつつ、目に見える形で市民に分かりやすいように木質化にも力を入れる、というような目標がよりよいのではないかと思います。

**【委員】**

資料1のP. 4について、一昨年に福岡市でブルーカーボンの制度ができたと思います。あえてSDGsの目標14と目標15をつけた状態で方針としてあげてもよいのではないかと思います。CO<sub>2</sub>を45%削減というのは大きくクローズアップされていますが、カーボンオフセットについて両方の制度をもっているところはないと思います。検討体制に組み込めるのであれば実行性が高くなるのではと思いました。

**【委員】**

P. 3の「林業の生産基盤」ですが、早良線の整備はされましたが、本市の森林はまだ広範囲にあり、森林の木材の利用を進める点からも林道整備をもう少し強く打ちだせないのでしょうか。また、担い手育成については、林業は採算が合わず厳しいので、担い手育成

がうまくいっていないという課題がありますが、林業をもう少し魅力あるものにできたら若い人も育つのではないかと思います。入ってみるといいところかと思いますが、アピール方法というか、自分が経営となると身近なものにはなっていないので、もう少し魅力あるものにしたいと思います。

**【委員】**

資料2の林道のデータ整理について。路線数が現状45で目標が84ということですが、現在の路線数はどれくらいあるのでしょうか。利用されている林道とされていない林道もあると思いますが、それも併せて整備率が100%になるという理解でよいですか。

**【森林・林政課長】**

林道は全部で84路線あります。現在の利用状況は全部把握できている状況ではありません。

**【会長】**

木造・木質化については、木質化中心だが木造化も排除しない書きぶりにするということが委員の皆様からの意見としてまとめられると思います。

基本方針5つの順番について委員からご意見ありましたが、確かに「守り・楽しみ・活かす」に合わせると基本方針1、3、4、2、5の順番かなという感じですが、事務局から説明あればお願いします。

**【森林・林政課長】**

木造化については、記載する方向で検討します。

**【総務農林部長】**

順番については、基本方針1は「守る」に対応するイメージ、2が「楽しむ」の部分。3、4、5は「守る」と捉えるか、森のめぐみや豊かさの持続的な利用と捉えるのかで置き方が変わると思います。考え方の一つとして、将来像を市民に発信していくと考えて、市民が身近に感じられるものを上に置くようにして組み立てております。基本方針5の優先順位が低いということでは決してなく、市民に近いかどうかで順序立ててあるところです。

**【会長】**

今の説明はわかりやすいと思いましたので、それも踏まえてご検討をお願いします。

林道についてご意見がありましたが、林業の生産基盤に不可欠なので充実すること、また災害が増えており、熱海市の事例もありますが、変な道を作ったり維持管理を怠ったりすると災害リスクが高くなります。財源は明らかにしなくても維持管理をすとか、生産機能をより高めるために林道、作業道を十分活用して、さらに林業だけでなく森に市民が入っていく面でも重要なものになっていくと思いますので、両方書いておいた方がよいと思いますがいかがでしょうか。

**【委員】**

会長のご意見はそのとおりだと思います。林道は生産基盤が主だと考えておりましたので、防災上の林道のイメージがわかかなかったのですが、林道を作って激甚災害のときの迂回道などにするという意味も含まれるのかなと思いました。両方書いてもいいと思います。あとは、財源について書く必要があるかどうかは検討いただきたいと思います。

**【会長】**

森林環境譲与税の使い方は人材育成や保安整備、間伐、境界確定、森林管理システムなど、どこに重点を置くかは、市町村の置かれた状況によって変わってくると思います。そのため林道の財源と書いてしまうとよくないと思います。5年後の目標にも関わる部分ですが、レーザー測量や赤色立体地図なども整備されているので、この際、林道だけでなく作業道の台帳も福岡市独自で作っていった方がよいのではないかと考えています。作業道の延長距離は出ていますが、実態として数字通りの利用がされていないというのがどこの市町村でも現状で、林道も危ないが、最近の気候変動による集中豪雨で作業道の災害発生も起きています。目標を立てるのであれば、林道台帳の整備プラス作業道台帳として市町村が把握していくということが大切です。作業道台帳は国からは求められているものではありませんが、福岡市の独自性を出すという意味でもよいのではないかと考えています。

#### 【委員】

林道整備についてですが、早良消防署主催で市の西部や那珂川市、佐賀県富士町、三瀬村、東脊振などの消防団、消防署、航空自衛隊で年1回災害の会議があります。その中でも林道があっても、それがどこかわからないので、山火事があったときに沢からホースを引いてどこに持っていけばいいかわからないというご指摘が毎回あります。林業としてももちろん助かりますが、そういう観点からも福岡市84路線の管理をきちんとしていく必要があると思います。いつ山の災害があるかわかりませんので、早急に整備を進めていただきたいと思います。

#### 【会長】

検討をお願いします。

#### 【委員】

P.11の木質化についてですが、赤枠の中に「公共施設の整備において木質化を中心とした～」と書かれておりますが、公共施設だけでよいのでしょうか。福岡市は都市部で民間の建て替えがどんどん進んでいるので、それを積極的に木質化するというのはいいことだと思います。今回の法改正でも非公共をメインに上げていますので、公共に絞らず書く必要があるなら公共施設等などの書き方にしたらどうでしょうか。

#### 【会長】

支援をするかに関わらず、民間に対してPRや、木材利用の推進のための情報発信についても、幅を広げる形で検討いただけたらと思います。

#### 【委員】

P.11の重点の枠の下に民間の技術者について書かれておりますが、ここもふくらませて、民間分野でも木造木質化の普及に努めます、などの表現にしたらよいのではないかと考えています。

#### 【委員】

P.11「森林資源活用に向けた基盤づくり」の中で、航空レーザー計測について書かれています。これはあくまで今後の生産基盤の整備に使われると思いますが、森林資源の把握もできると思います。公共建築物の木材利用を促進するためにも、本市の資源がどれくらいあるのかを把握することも大事ではないかと考えています。資源がわかると使う方も使い道も広がりますので、生産基盤のための航空レーザー計測と、資源把握のためのレ

一ザ一測量を考えていただければと思います。

**【会長】**

林業に活用できるような森林資源情報を整理するということですね。

P.3 の様々な担い手の育成をもう少し具体的に、専業や副業、定年後就業など林業とこれまで関わりのなかった人の関わり方についてイメージが伝わるように書いていただくとよいと思います。

**【委員】**

年1回程度、林業安全作業の為のチェーンソーや草刈り機の安全使用講習会をやっており、それには林業に携わってない一般の方も参加しています。どこからの情報で参加されたかはわかりませんが、興味のある方はいるはずですので、広く広報できたらよいと思います。

**【委員】**

林業の担い手として、現場で働く人を募集しますが、給料が安いです。働き方改革でやっと月給制にしましたが、経営者側としては人件費の負担が大きくて利益につながらないのが悩みです。土木・建設業などの職種の中で、林業職員が一番安く、労働災害の頻度も高いという状況です。木材単価が上がってくるとよくなる部分が大いのですが、今のところ給料が安いから人が集まらないし、すぐやめてしまって、なかなか人が育たないというのが現状です。林業がもっと儲かるようになるのが一番よく、関係者からはそういう意見が多いです。

**【会長】**

担い手育成については専門的に就業する方の条件整備が必要かと思います。また追加で、安全教育をどこかに入れておいた方がよいと思います。いろいろな人に携わってもらいたいですが、事故など危険なので、安全教育は大事になります。

**【委員】**

安全性に関わる話として、林業が魅力的でない理由としては給料が安く危険だということが大きいので、安全対策を入れるのはよいことだと思います。また処遇の改善につながる部分で、儲かるような林業にしないといけないので、木材生産における生産性の向上が書けるかと思います。ICT を活用して生産性の向上に努めている事例もありますので、そういったことも追加したらよいのではないかと思います。

**【会長】**

資料2の令和4年～8年度の5年後の目標設定について、低すぎる、高すぎる、この項目でよいのか、などご意見をお願いします。

**【委員】**

目標値の⑤についてですが、資料1のP.9の数値目標案で、木材使用量と地域資材の割合が「または」で併記されております。個人的にはこの両方を目標として持っていてよいと思いますが、これはいつ確定するのでしょうか。

**【会長】**

それについて今日意見をお願いします。

**【委員】**

そうであれば、個人的には両方併記したほうがよいと思います。

**【会長】**

2つ目標設定をするということですね。目標自体はどうですか。

**【委員】**

数値が現実的かどうかの想像がつかないのですが、木材の使用量は前計画を踏襲していると思いますので、どうしても年度ごとで建物自体の増減があって、それに引っ張られる部分が多いので、設定としては難しく、一旦そのままになるのは仕方ないと思いました。地域産材は現状値の2割増しだと思いますが、5.0はどういう数値目標なのか説明していただきたいと思います。

**【林政係長】**

5.0とは、木材使用量における地域産材の割合です。目標値は、直近5年間の最大、最小値を除いた3ヶ年の平均の2割増しにしています。

**【委員】**

2割増しが目標値として妥当かどうかは、できるかできないかの想像がつかないので何とも言えないのですが、2割増やすということは何もせず増えるわけではないので、専門家の皆様から2割増しの数値が可能なのかも含めてご意見を聞きたいと思います。

**【会長】**

木材使用量を増やすと、2,500 m<sup>3</sup>の5%なので量としては地域産材利用量としてはかなり増えるという形になると思います。今までの議論の中で木材利用推進という観点から、積極的なご意見をいただいていますので、目標値を下げるというのはどうかとも思います。前回の目標値の2,500 m<sup>3</sup>をなくすということも考えられるかなと思いますが、木材利用の観点からご意見を伺えればと思います。

**【委員】**

どんな公共施設が年にどれだけできるとか背景が理解できておりませんが、全般的に見ていて福岡市の木質化は足りないと思います。オリンピックの映像など見ても木質化がかなり進んでいます。それを踏まえると木材使用量の増加の可能性は高いと思いますので、高い目標はよいと思います。

**【林政係長】**

平成28年度～令和2年度までの木材使用量のグラフですが、28年度は929 m<sup>3</sup>、29年度は887 m<sup>3</sup>、30年度は2,172 m<sup>3</sup>、令和元年度545 m<sup>3</sup>、令和2年度800 m<sup>3</sup>となっております。内訳まで記載をしておりますが、市営住宅や小中学校、公民館などに多く使用されています。平成30年度は目標に近づいておりますが、総合体育館や美術館などで多くの木材を使ったので、目標値に近くなっています。使用量だけでは公共建築物によって木材使用量の差がありますので、地域産材の割合も入れてはどうかとご提案させていただいたところです。またはと書いておりますが、いずれでもいいです。ただどちらも併記するなら使用量の数値は下げてはどうかと考えております。

**【委員】**

公共建築も波があるということが分かりました。そういう中でこの目標値を達成する可能性は持っていますか。

**【林政係長】**

使用量の2500 m<sup>3</sup>についてはかなり厳しく達成困難だと思っておりますが、前計画が

2500 m<sup>3</sup>だったので事務局から下げるとは言いにくいと考えています。地域産材の割合については、市の方で主伐を進めて、公共施設に使用していく仕組みづくりを進めておりますので、2割増は達成できると考えています。

**【委員】**

達成する道筋、ロードマップが立ちづらい場合は、目標にしないほうが良いような気がしますがどうでしょうか。

**【会長】**

木材使用量を外して、地域産材の割合だけにするというご意見だと思いますがいかがでしょうか。どちらにしても、結果として数値は把握されると思いますが目標値として掲げるときに、この項目だけ2つというのはどうでしょうか。木材利用推進は重要なのでそれもありかとは思いますが。

**【委員】**

木造住宅の使用量が一戸あたり24m<sup>3</sup>であるので、公共施設に置き換えて2500 m<sup>3</sup>は目標値としてクリア可能ではないかと思えます。福岡市でも公共建築物の老朽化に伴う建て替えが進んでおりますし、計画もあるということですから、公共施設に利用させていただいて、またストックの改修も進んでいくので積極的に木材利用を進めていけば可能だと思います。数値の背景ですが、直近の公共施設の基本計画案が出ているものもありますので、他にもどのようなものができるかを把握して、1棟あたりどれくらい使うかを計算すれば大体の数値が出るのではないのでしょうか。

**【委員】**

⑤の目標数値の経緯でいくと、木材使用量は公共施設の整備が年度で差があるので、木材使用量を数値目標に立てると達成が難しいということで、本来は、地域産材の使用率を新たに目標数値として置き換えるという案がありました。ただ、まだまだ市として木材使用ができる余地があります。教育委員会などが学校関係で木を使うという事を積極的にやっていますが、他の局が所管するような施設には木材利用が進んでいないので、そう意味では増やせる余地があると思えます。そこが進んでいない以上、地域産材だけにシフトするのはどうなのかという意見を申し上げたので、今回2つの案を出して議論いただくことになったのだと思えます。ただ年度で2500 m<sup>3</sup>という目標は現状としては高すぎると思っていますし、これまでも1年度も達成できていませんし、そう考えるともう少し現実的な数字に置き換えるか、5年間のトータルの数値を目標にする、公共建築物における木造化率・木質化率のような%でとれるような指標にするなどの工夫があるのでと思います。現状として木造化木質化されない建物がある以上、地域産材の割合だけにするのはまだ早いという意見を言わせていただきました。

**【会長】**

木造木質化が進んでいない中での地域産材利用率だけというのも、福岡市の場合は筑後川水系や九州各県の木材を引き受けるという消費地としての位置づけもありますので、量の部分については指標としては残してはどうでしょうか。目標値の2500 m<sup>3</sup>という数値については、今後5年間の公共建築物の計画を確認していただいて、単年度の数値にする、令和4~8年度の平均値にするのかなどについては検討が必要だと思います。本日の所では、量と地域産材の割合の両方残して、まずは公共建築物から木造木質化を推進し、

その中で少しでも地域産材を使用していくという形でまとめていきたいと思いますがいかがでしょうか。

**【委員】**

残すことには異存はないです。使用量の 2500 m<sup>3</sup>は難しいにしろ、かなり近いところまでいけると考えれば、木材使用量における地域産材割合の 5.0 は少ないと思います。どちらも公共施設の目標ですが、木材の量が増えれば、他県の丸太を県内で製材するのも地域産材としてカウントされると思いますので、だとすると 5.0 は少ないと思います。算出根拠がわからないのですが、再検討したほうがいいと思います。

**【会長】**

他県の丸太を市内で製材するものについては地域産材というご意見について、まず市内に製材所がないのでできません。地域産材を引き上げるには、市内に製材所を作るか、福岡市内の木材を他市町に持って行き、製材してもらうしかないのでいきなり 10%はかなり難しいかと思います。

**【委員】**

地域産材は、福岡市で製材されたことを指しているのでしょうか。県産材含むと書いてあるので、わかりにくいと思います。

**【会長】**

それだけ他県産材に依存した地域であるということを表しています。福岡県産材の木材もカウントしての地域産材であれば、この 5.0%で妥当かどうかは事務局と検討させていただきたいと思います。

その他の指標について、①②は+20%なのに④林業生産は+10%なので、目標値の設定として低いのではないかと感じています。また③は林道台帳だけでなく作業道まで台帳を作ることを目標に追加したらと思います。

**【委員】**

④の主伐と利用間伐の目標値が少ないように感じます。事業計画を立てないと簡単に伐れない。30~50年の材のストックを市で把握していると思いますので、そのあたりをどう計画するのか。森林所有者が多いところには早めに働きかけをして、森林組合だけでは難しい部分もありますので、市も協力して目標達成を目指すことが大事だと思います。

先ほどから木質化の議論がでておりますが、木は伐ってから使うまでに乾燥や製材などもしないとイケませんので時間が必要です。市街化区域は防火上難しい場合、調整区域の学校や公民館などに使ってもらうことを考えると、早めに計画をしていただかないと目標達成は難しいと思います。市内には私有林も多いですので境界明確化などが進めますと、計画的にできると思いますので、総合的に考えた目標設定をしていただきたいと思います。目標値も伸ばせるなら伸ばしてください。

**【委員】**

②のボランティア参加人数ですが、これまでは興味がある人にご参加いただいてそれなりに増えてきましたが、今後増やすにはどうするか。市民の森は再整備など計画されておりますが、それ以外にも力強いアピールがあってほしいと思います。

**【会長】**



林道台帳に作業道を含めるというのはいかがでしょうか。

**【委員】**

福岡市として可能であれば含めることはいいと思います。

**【会長】**

ぜひ検討していただきたいと思います。目標値を100%にする必要はないですが、使える所、使えない所を地図上で把握するだけでも、防災上でも林業の生産基盤でも重要だと思います。

**【林政係長】**

作業道については、林道の管理も行き届かない状況であるので、作業道までとなると厳しいと思っており、まずは林道を確実にやりたいと思います。主伐や森林の再生面積についても境界明確化に取り組みますので、境界が明確になれば森林作業整備が進み、生産量・荒廃森林の再生が進むと考えています。

**【会長】**

林道が終わって次の課題にしてもいいですが、そういう課題があるということを経事録に残していただきたいと思います。

**【委員】**

境界不明地の取り組みを今年度から進めるということですが、レーザー測量にも取り組むならば面積的な森林整備のスピードは今までよりあがると思います。①の目標値1,600は令和3年の目標値とあまり変わっていないので、もう少し増えてもいいのではという気がしております。

**【会長】**

それでは、これまでの審議結果を踏まえて素案を取りまとめたと思います。8月30日に農林業振興審議会がありますので、それまでに今日ご意見を賜ったものについては報告できるようにしたいと思います。修正については会長と事務局に一任させてもらいたいと思うがよろしいでしょうか。

**【全員】**

よい。

**【会長】**

ありがとうございます。これをもちまして本日の議事を終了したいと思います。3回に渡り活発なご議論をしていただきありがとうございました。引き続き、福岡市の計画について、またその成果について、将来的にも見守っていただければと思います。今後ともどうぞよろしく申し上げます。事務局にお返しします。

**【森林・林政課長】**

長時間のご審議ありがとうございました。準備の不手際により予定時間に開催できなかったことを改めてお詫びいたします。委員の皆様には3回にわたり活発にご審議いただき、また貴重なご意見を多数賜り、重ねてお礼申し上げます。今後も本市の林業行政についてご支援・ご協力の程、引き続きよろしくお願いいいたします。それでは、農林業振興審議会第3回林業部会を終了します。